

文化観光の取り組み

～キトラ古墳壁画発見 40 周年記念企画展～

西光 慎治・辰巳 俊輔

1. はじめに

近年、「文化観光」という言葉が注目され、観光庁などが推進する観光政策では、地域の文化価値を深く体験する方向へとシフトしている。パンデミック後の観光再構築においても、その土地ならではの文化資源に焦点を当てることが求められており、地域の文化を象徴し、保存・発信する博物館の存在が再評価されている。博物館は、これまで教育的・研究的な「知の拠点」としての価値を重視してきましたが、近年は「観光体験の場」としても大きな可能性を秘めているとされている。来館者は、展示物だけでなく、その背景にあるストーリーや地域とのつながりといった「体験全体」に関心を持つようになってきている。特に訪日外国人や国内旅行者にとって、博物館はその土地の文化を直感的に理解する入り口であり、「知的な観光体験」を可能にする場所と言える。博物館は、さまざまな資料を収集・保管・調査研究し、その成果の展示などを通じて人々に提供することで、学びや楽しみを創出することができる。歴史展示は、過去の出来事や文化を現代に伝え、来館者が自らのルーツや文化の多様性を知るきっかけとなる。日本では 5,700 以上の博物館が存在し、それぞれが異なるテーマで展示を行っている。歴史博物館以外にも、総合博物館では地域の歴史や文化全般を扱い、専門博物館では特定の分野に特化している。大学博物館では学術研究の成果を公開を行うなどこれらの施設は、歴史的遺物の展示だけでなく、伝統芸能の公演やワークショップなど、体験型のイベントも開催し、多様な形で文化を伝えている。2020 年には「文化観光推進法」が施行され、博物館や神社仏閣などを目的とした文化観光を推進し、観光振興と地域活性化につなげることが目指されている。これにより、難解な専門用語が並びがちだった展示解説も、「考古学をやさしく」といった方向性が提唱されるなど、より一般の人々にわかりやすく、親しみやすい歴史展示への工夫が進められている。明日香村では明日香村埋蔵文化財展示室において発掘調査で得られた調査・研究の成果を展示・公開を行っている。展示では縄文時代から弥生・古墳・飛鳥時代を中心に日本の国家形成の歩みを出土遺物や早川和子氏の考古復元画を通じて当時の様子を紹介している。また、飛鳥の魅力発信の一環として他館への出張展示として奈良県立美術館で「明日香村まるごと博物館―全域に文化財が眠る村とその魅力」展(2017.11.23～2018.01.14、入場者数 12,531 名)と題して、村内の有形・無形文化財や歴史遺産、さらに地域の伝統行事や衣食住などの民俗・芸能を一堂に会した展覧会を実施した。

今回、昭和 58(1983) 年の高松塚古墳に次ぐ第二の極彩色壁画としてキトラ古墳壁画の発見から 40 年を迎えた。高松塚古墳、キトラ古墳以外にも飛鳥の地には古代を形作った人々が眠る墳墓が点在している。その多くが得意な造形や色彩で彩られ、個性豊かな葬送のあり方を現代に伝えてくれる。前方後円墳体制の終焉から八角墳を頂点として、大型方墳や横穴式石室、横口式石槨など社会秩序を具現化された終末期古墳は日本列島における古墳文化の終焉と日本国誕生と軌を一にしている。今回、キトラ古墳壁画発見 40 周年を記念して、飛鳥の様々な「葬りのカタチ」を紹介する企画展を実施した。会期等の要綱は以下の通りである。

本企画展の企画・展示・渉外は辰巳俊輔・西光慎治が担当した。

2. 展示趣旨

キトラ古墳壁画が発見されて 40 年を記念した企画展。飛鳥地域の遺跡から出土した工芸品は日本アートの源流とされている。キトラ古墳では四神像をはじめ獣頭人身像や東アジア最古の天文図など極彩色壁画が描かれていた。今回の展示では壁画の絵画性にスポットをあて、また考古学資料についても工芸的な要素を踏まえた「飛鳥のモチーフ～葬りのカタチ」と題して 1,400 年前の工芸と絵画、造形物の観点から展示を行うことで当時の人々の美的センスや技術力・工芸力を体感することを目指す。さらに現代日本画家とコラボしてキトラ古墳壁画の復元製作を通じて飛鳥時代の絵画や絵師の謎に迫るものである。

3. 開催要項

会 期 令和 5 年 10 月 27 日(金)～令和 5 年 12 月 10 日(日)
場 所 平城宮いざない館企画展示室 奈良市二条大路南 3-5-1
主 催 明日香村・平城宮跡管理センター
共 催 世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会
参 加 費 無料

関連講座 ギャラリートーク 令和 5 年 10 月 27 日(金) 11:00/14:00

講演会① 令和 5 年 11 月 7 日(火) 10:30 ～ 12:00

「キトラ古墳の歴史的意義

～壁画の発見から現代、そして未来へ～」

西光 慎治(明日香村教育委員会文化財課課長補佐)

講演会② 令和 5 年 12 月 10 日(火) 10:30 ～ 12:00

「「飛鳥・藤原」の世界遺産登録に向けて」

小池 香津江(明日香村教育委員会文化財課課長)

対 談 令和 5 年 11 月 12 日(日) 10:00 ～ 11:20

「キトラ古墳「四神図」に魅せられて

～日本画から読み解く～」

鳥頭尾 精(日本画家・創画会会員・京都教育大学名誉教授)

西光 慎治(明日香村教育委員会文化財課課長補佐)

ギャラリー 令和 5 年 11 月 12 日(日) 11:20 ～ 11:50

一トーク 鳥頭尾 精(日本画家・創画会会員・京都教育大学名誉教授)

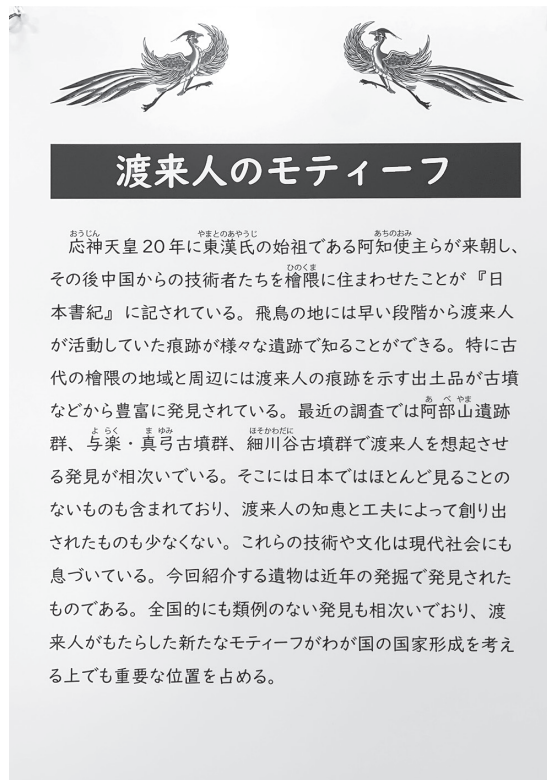
体 験 令和 5 年 12 月 10 日(日) 10:00 ～ 16:00

「古代飛鳥のモチーフを粘土で作ってみよう」

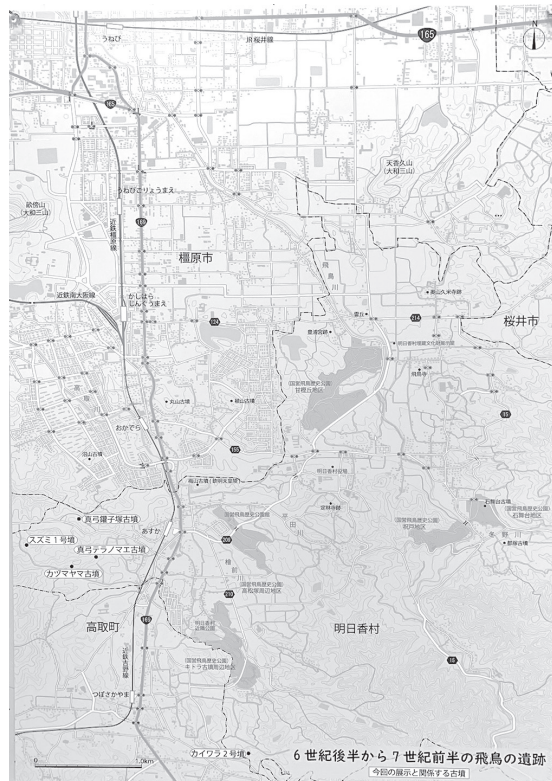
4. 入場実績

来場者数 35,652 名

5. 主な展示内容



渡来人のモチーフ・展示概要



渡来人のモチーフ・古墳位置図

《主な展示資料》

- 1) 真弓罐子塚古墳：獣面飾金具・板状土製品・ミニチュア炊飯具・須恵器・凝灰岩片他
- 2) カイワラ2号墳：ミニチュア炊飯具
- 3) スズミ1号墳：ミニチュア炊飯具
- 4) カヅマヤマ古墳：漆喰付着平瓦・石槨材（漆喰付着結晶片岩切石）

《主な古墳概要》

1) 真弓罐子塚古墳 明日香村大字真弓

貝吹山の南東部に位置する6世紀中～後半に造営された円墳である。埋葬施設は南に開口する右片袖式の穹窿状横穴式石室で、玄室南側には奥室を有している。出土遺物には獣面飾金具・馬具・ガラス玉・須恵器・土師器などがある。

2) カイワラ2号墳 明日香村大字真弓

キトラ古墳の南方に位置する6世紀後半の方墳である。埋葬施設は右片袖式横穴式石室で石材の大半は失われている。出土遺物は馬具、ミニチュア炊飯具がある。

3) スズミ1号墳 明日香村大字真弓

貝吹山の対岸に位置する6世紀後半の円墳である。埋葬施設は右片袖式横穴式石室で石材の大半は失われている。出土遺物はミニチュア炊飯具、鉄釘等がある。

4) カヅマヤマ古墳 明日香村大字阿部山

マルコ山古墳の北西に位置する7世紀後半の方墳である。埋葬施設は磚積み式横穴式石室で石材の大半は失われている。石室壁面には漆喰が塗布されており、玄室中央には棺台が設けられている。1361年の正平南海地震で古墳の大半が崩壊した状態である。



企画展示室 入口



展示室正面



渡来人のモチーフ



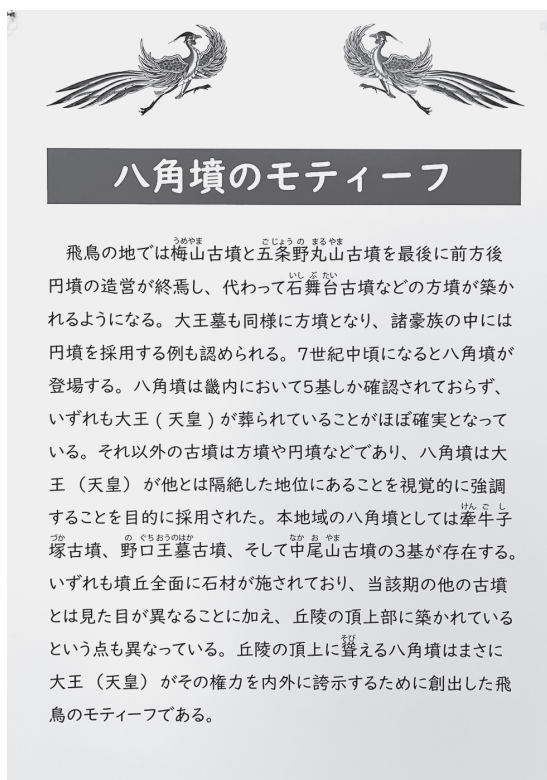
八角墳のモチーフ



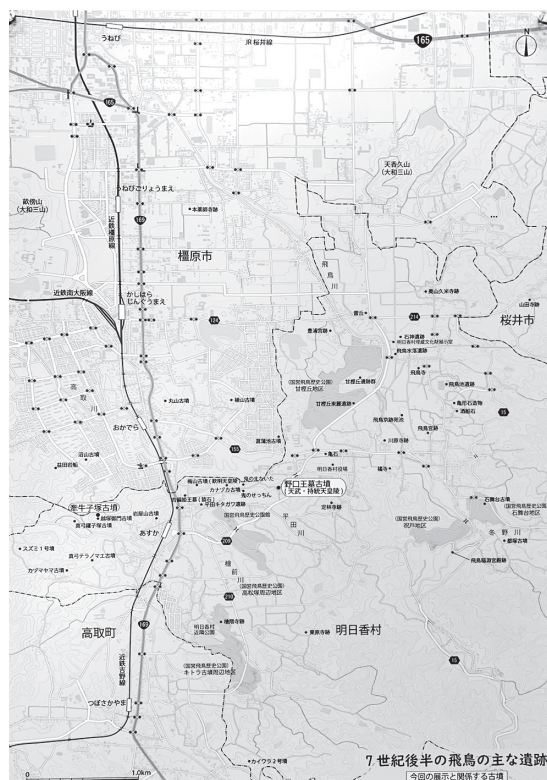
猿石 (複製) ①



猿石 (複製) ②



八角墳のモチーフ・展示概要



渡来人のモチーフ・古墳位置図

《主な展示資料》

- 1) 牽牛子塚古墳：夾紵棺片・七宝飾金具・凝灰岩切石・墳丘模型 (1/30)
- 2) 野口王墓古墳：墳丘凝灰岩切石

《主な古墳概要》

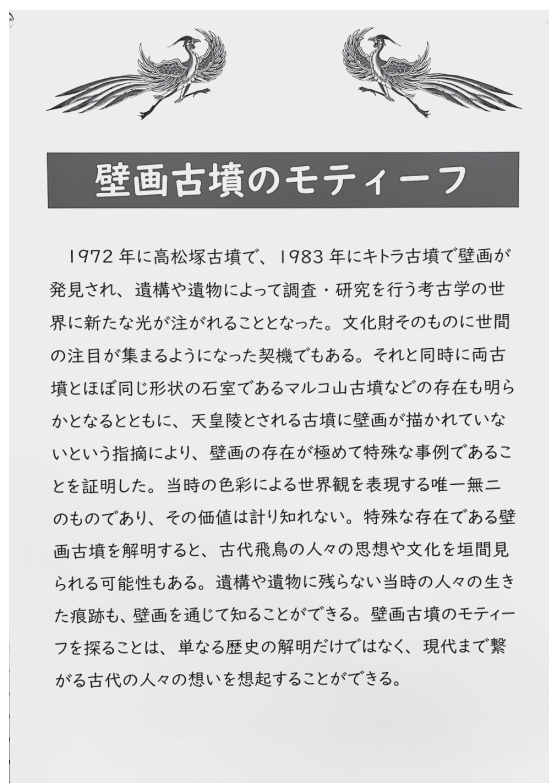
1) 牽牛子塚古墳 明日香村大字越

貝吹山から派生する丘陵頂部に築かれた七世紀後半に築かれた対辺長約 23m の八角墳である。墳丘は版築で築かれており、外装は凝灰岩切石で覆われている。埋葬施設は二上山製の凝灰岩切石を用いた割り抜き式横口式石槨である。墓室は仕切り壁を挟んで東西に二室あり、床面には削り出しの棺台が設けられている。天井はアーチ状となっている。出土遺物には夾紵棺片、七宝飾金具、ガラス玉、鉄製品、歯牙、人骨などがある。

2) 野口王墓古墳 明日香村大字野口

今城谷に築かれた 7 世紀後半の八角墳である。現在は宮内庁により、天武天皇・持統天皇の檜隈大内陵に治定されている。埋葬施設は『阿幾乃山陵記』によると内陣と外陣から構成された全長 7.7m の横穴式石室と考えられる。玄門部には金銅製の観音扉が設けられており、把手には獅子頭があったとされる。玄室内には朱塗りの夾紵棺と蔵骨器があり、それぞれ金銅製の棺台が設けられていたとされる。

墳丘については外周石敷を含め、墳丘が四段築成の五重と考えられており、築造規格から牽牛子塚古墳の墳丘が野口王墓古墳の二段目以上と規格が一致することから、野口王墓古墳は牽牛子塚古墳をモデルに築造されていることがわかる。さらに宮内庁による過去の調査で墳丘全体が凝灰岩切石で装飾されていたことも明らかとなっている。さらに、牽牛子塚古墳と野口王墓古墳、中尾山古墳はそれぞれが可視領域内に築造されている。



壁画古墳のモチーフ・展示概要



壁画古墳のモチーフ・古墳位置図

《主な展示資料》

- 1) キトラ古墳：石槨材（凝灰岩）、暗渠排水溝石材、墳丘測量図（1/20）、朱雀真鍮模型ほか。
- 2) 高松塚古墳：海獣葡萄鏡（複製）、透し彫り金銅製金具（複製）
- 3) マルコ山古墳：棺座金具、刀金具、漆塗木棺ほか。

《主な古墳概要》

1) キトラ古墳 明日香村大字阿部山

版築を用いて築かれた7世紀末の円墳である。墳丘裾部で版築工法に用いられた幕板と杭の痕跡が検出されており、残置されていたことが明らかとなっている。埋葬施設は二上山製凝灰岩切石を用いた組合せ式横口式石槨で、壁面には四神図をはじめ、獣頭人身像、天文図が描かれている。出土遺物には漆塗木棺片をはじめ刀装具、ガラス玉、人骨などがある。

2) 高松塚古墳 明日香村大字平田

版築を用いて築かれた7世紀末～8世紀初頭の円墳である。埋葬施設は二上山製凝灰岩切石を用いた組合せ式横口式石槨で、壁面には四神図をはじめ、男女群像、星宿図が描かれている。出土遺物には漆塗木棺片をはじめ刀装具、ガラス玉、人骨などがある。漆塗木棺には金箔を張った棺台が用いられている。

3) マルコ山古墳 明日香村大字真弓

版築を用いて築かれた7世紀末の多角形墳である。墳丘では版築工法の幕板痕跡と土嚢積みを確認している。墳丘の周囲にはバラス敷がありバラス面の下層には暗渠排水溝が設けられている。埋葬施設は二上山製凝灰岩切石を用いた組合せ式横口式石槨で、壁面には壁画は描かれていない。出土遺物には漆塗木棺片をはじめ刀装具、ガラス玉、人骨等がある。



壁画古墳のモチーフ・コーナー



キトラ古墳の軌跡



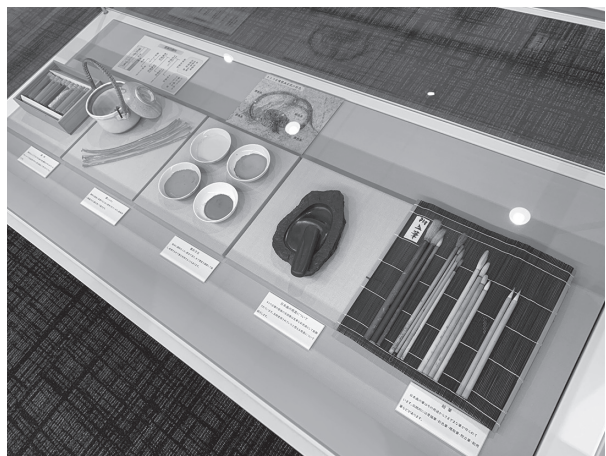
キトラ古墳 朱雀（複製）



壁画古墳のモチーフ



キトラ古墳 朱雀再現過程



壁画再現に用いた日本画材

《キトラ古墳朱雀再現～日本画の技法からみた壁画再現～》



①原寸大の下絵を描く

体長は 39.2cm、天地はわずか 15.0cmを測る。盗掘孔が高松塚古墳よりも西側にずれたことで、朱雀像が幸いにも破損が免れた。この図像は細部まで徹底して描かれており見事な線描から、完璧な下絵の作成が行われたと想定できる。



②下絵から転写し、骨描を行う

出来上がった下絵をうす紙で写し取り、それを壁との間に念紙（紙に木炭を塗ったもの）を挟み、竹ペンなどで押して書く。そして壁面に写った線に骨描筆によって墨で線描する。朱雀に描かれた線は卓越した絵師の技量を今に伝えている。



③骨描後、着彩を行う。

骨描きした線描を生かしつつ、彩色をする。キトラの朱雀図は朱色の濃淡で効果的に表現されている。現在、日本画の伝統的画法として、小下絵で着想を練り、大下絵で構図を決定し、それを本紙に転写して着彩する。キトラの壁画はその画法を今に伝えている。

※壁画再現は創画会会員・京都教育大学名誉教授 鳥頭尾 精氏による。

《キトラ古墳四神図にみる飛鳥時代の絵師の姿》

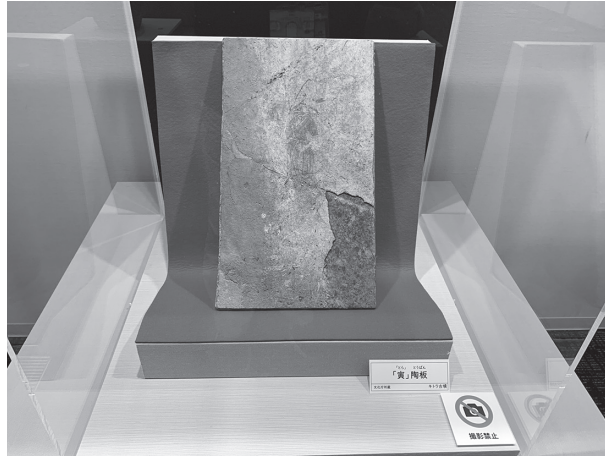
長年、鳥を描き続けてきた鳥頭尾氏との対談から飛鳥時代の絵師について日本画家の視点から見てきた人物像について紹介する。

キトラ古墳の四神図を描いた絵師については、まず単なる絵を写したといったレベルではなく、1,400 年前に鳥や亀、蛇などの動植物や風景などをよく観察して、写生を続けていた熟練した人物が想定される。さらに年齢や性別については力強い鉄線描や肥瘦線の様子から脂ののりきった 40 ～ 50 代で、性別についても女性よりも男性と考えられる。次に四神図が同一人物か別の人物かについては鉄線描や肥瘦線のタッチから別人と考えるよりも同一人物の手によるものと考えられる。但し、彩色については別の人物である可能性も残される。

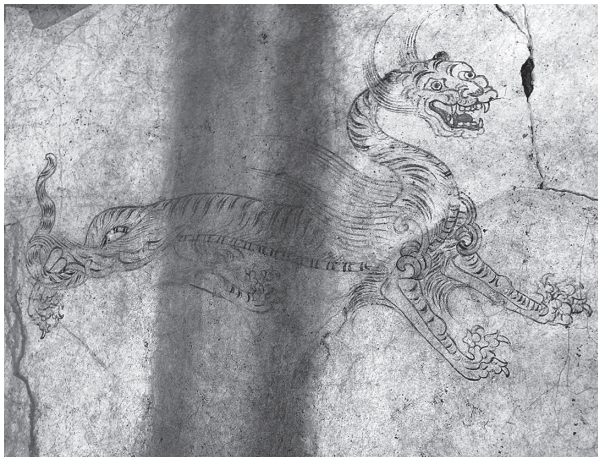
高松塚古墳とキトラ古墳の四神図を比較してそれぞれの絵師との関りについては、まずキトラ古墳と高松塚古墳の絵師や集団はそれぞれの線描などの違いから異なる可能性が高い。また、画風や技量を比較して、一見、同じように見える四神図も高松塚古墳の四神図の方がより形骸化しており、キトラ古墳の四神図の抑揚のある線描表現は飛鳥時代の絵師の水準の高さを示している。このように、四神図の再現を通じて見てきた飛鳥時代の絵師の姿は飛鳥の自然や動植物とのふれあいの中で詳細なイメージエチュードを重ねていた人物像が浮かび上がった。



キトラ古墳壁画（複製）



キトラ古墳壁画獣頭人身像（寅）複製



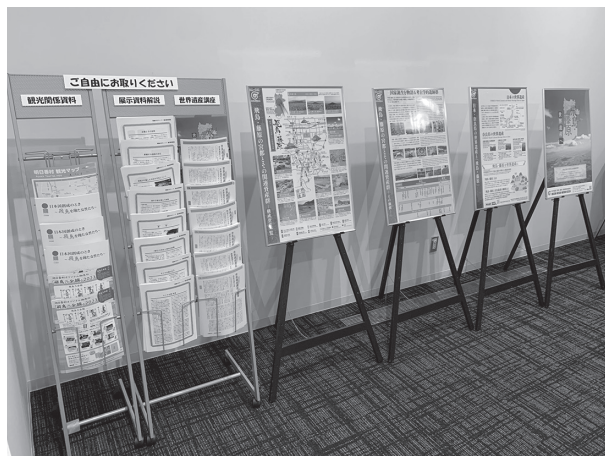
キトラ古墳壁画（白虎）複製



キトラ古墳壁画（朱雀）複製



夾紵棺・蔵骨器・漆塗木棺（複製）

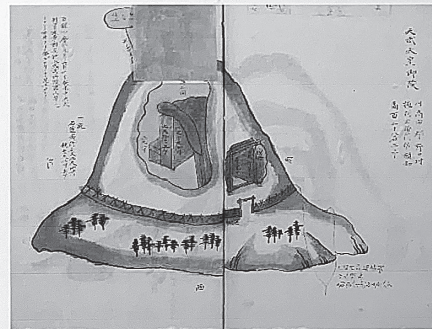


世界遺産・展示資料等 PR コーナー

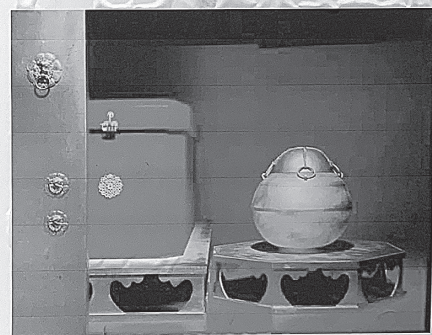
野口王墓古墳と『阿不幾乃山陵記』

野口王墓古墳は明日香村大字野口に所在する八角墳である。現在は宮内庁により天武天皇と持統天皇を合葬した檜隈大内陵に治定されており、内部構造等の詳細を知ることができないが、鎌倉時代に盗掘に遭った際の実見記が存在することから、当時の様子を知ることができる。

明治13(1880)年に京都市の高山寺から『阿不幾乃山陵記』が発見された。これは文暦2(1235)年に野口王墓古墳が盗掘に遭い、犯人を逮捕したのちに取調を行った際の実見記である。この記録には当時の野口王墓古墳の様子が克明に記されている。そこでは、石室内に朱塗で張物の棺があり、その大きさは長さ七尺、広さ二尺五寸、深さ二尺五寸で、床には厚さ五寸の金銅製の台が据えられていたとある。その横には金銅桶が一つ置かれていたと記されている。『日本書紀』と『続日本紀』には天武天皇は2年間の殯を経て、持統天皇は火葬されてそれぞれ埋葬されたことが記載されている。盗掘により明らかとなった石室内の様子と文献史料の記述が一致することから、野口王墓古墳が天武天皇と持統天皇を葬った檜隈大内陵である可能性が高いことが指摘されている。



江戸時代の野口王墓古墳（『諸陵周垣成就記』より）



野口王墓古墳の石室内復元模型 奈良文化財研究所提供

《飛鳥のモチーフから文化観光へ》

野口王墓古墳については『阿不幾乃山陵記』に見ると石室内と夾紵棺は朱色、蔵骨器、棺台、観音扉は金銅色とカラフルな色合いである。キトラ古墳や高松塚古墳も石槨内は白いキャンバスに極彩色壁画に彩られ、赤や黒色の漆塗木棺が安置されている。菖蒲池古墳では家形石棺の内部がそれぞれ前棺は黒色で奥棺は朱色に彩られている。これらの彩りは薄葬化の流れの中で当時の死生観や喪葬儀礼の一端を読み取ることができる。

野口王墓古墳では亡骸と火葬骨が一緒に墓室内に安置されているなど相反する喪葬の変化は律令国家形成過程の過渡期の様相を如実に表している。日本国が誕生する飛鳥時代において天皇自らが荼毘に付され、自らの八角墳を造営することなく合葬される行為はまさに薄葬化を象徴するものであり、造墓理念の大きな転換期にあたっている。復元された野口王墓古墳の夾紵棺や蔵骨器から伝わる当時の人々の喪葬理念に秘められた新しい時代の幕開けは、今回の展示のタイトルにある「飛鳥のモチーフ～葬りのカタチ」はまさに飛鳥時代の様々なモチーフを通じて、喪葬のカタチとなって1,400年の時を経て、現代の私たちと対話することができる。日本画の源流とされる高松塚古墳やキトラ古墳の分析から当時の絵師の姿が現代作家の目を通じて浮かびあがるなど、モチーフがもたらす膨大な情報量を読み解く卓越した作家や考古学の研究者の挑戦はこれからも続いていく。「飛鳥・藤原」の世界文化遺産の登録に向けた取り組みと相まって、展覧会事業は文化遺産をより良い形で後世に伝え、魅力ある地域の観光振興や地域活性化に大きく貢献していると考えられる。文化観光にみる展覧会の果たす役割が大きいものと考えられる。

いざない館 主な展示資料一覧

		古墳名	資料名	所蔵機関
1	渡来人のモチーフ	真弓罐子塚古墳	獣面飾金具	明日香村教育委員会
			馬具類	明日香村教育委員会
			玉類	明日香村教育委員会
			板状土製品	明日香村教育委員会
		ミヅツ2号墳	ミニチュア炊飯具	明日香村教育委員会
		カイワラ2号墳	ミニチュア炊飯具	明日香村教育委員会
		カヅマヤマ古墳	石槨材（漆喰付着切石）	明日香村教育委員会
		真弓テラノマエ古墳	漆喰付着瓦片	明日香村教育委員会
2	八角墳のモチーフ	牽牛子塚古墳	夾紵棺片	明日香村教育委員会
			七宝飾金具	明日香村教育委員会
			ガラス玉	明日香村教育委員会
			凝灰岩片	明日香村教育委員会
			墳丘模型	奈良文化財研究所
		野口王墓古墳	凝灰岩片	明日香村教育委員会
3	壁画古墳のモチーフ	キトラ古墳	棺座金具（複製）	奈良文化財研究所
			透し金具（複製）	奈良文化財研究所
			石槨材（凝灰岩）	明日香村教育委員会
			暗渠排水溝石材	明日香村教育委員会
			探査用ドリル	明日香村教育委員会
			墳丘実測図	明日香村教育委員会
			真鍮朱雀（複製）	明日香村教育委員会
		高松塚古墳	海獣葡萄鏡（複製）	奈良文化財研究所
			透し金具（複製）	奈良文化財研究所
		（日本画）	青龍・朱雀、玄武・白虎	烏頭尾 精氏
			複製玄武	文化庁
			複製白虎	文化庁
			複製 寅	文化庁
		高松塚古墳	海獣葡萄鏡（複製）	奈良文化財研究所
			透し金具（複製）	奈良文化財研究所
4	服飾のモチーフ	高松塚古墳	男女群像	明日香村教育委員会
5	棺のモチーフ	高松塚古墳	漆塗木棺（複製）	奈良文化財研究所
		野口王墓古墳	夾紵棺（複製）	奈良文化財研究所
			蔵骨器（複製）	奈良文化財研究所
6	石造物のモチーフ	吉備姫王墓	猿石一式	明日香村教育委員会
7	絵画のモチーフ	日本画	ふじはら春・夏・秋・冬他、日本画	烏頭尾 精氏
		日本画	烏頭尾 精・製作動画	明日香村教育委員会